

2023年度 第24回
国家資格 キャリアコンサルタント試験

実技試験（論述） 問題用紙

実施日 ◆2023年11月5日（日）

試験時間 ◆14：30～15：20（50分）

★注意事項★

1. 逐語記録を読み、解答用紙の問いごとに記述してください。
2. 解答用紙に受験番号・氏名を記入してください。記載漏れがあった場合は採点されません。
3. 試験中は、受験票、腕時計（腕時計型ウェアラブル端末の使用は不可、音を発しないもの）、筆記具（鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム）以外のもの（定規、メモ用紙、筆記用具入れ等）は机の上に置かず、カバンの中などにしまってください。
4. 受験票は、机上の通路側に見えるように置いてください。
5. 試験中は、携帯電話・スマートフォンなどすべての通信機器及び電子機器は使用できません。必ず電源を切って、カバンの中などにしまってください。時計のアラーム等、音の出る機能も使用できません。
6. 試験中は、乱丁・落丁・印刷不鮮明に関する質問以外はお受けできません。
7. 不正行為があったときは、すべての解答が無効となります。
8. 試験終了の合図が告げられたら、直ちに筆記具を置き、監督員の指示に従ってください。
9. その他、監督員の指示に従ってください。指示に従わない場合は、失格となります。

【退席時の注意事項】

1. 試験開始後30分経過した時点で途中退出できます。途中退出する場合には、挙手し、監督員の指示に従ってください。問題用紙はお持ち帰りください。
2. 試験終了時刻5分前からは退出できません。試験終了後、監督員が解答用紙を回収しますので、着席したままでお待ちください。

- 実技試験の合格は、論述試験及び面接試験の両方も合格基準に達することが必要です。
- 2023年12月18日（予定）に、受験者全員に結果通知書を送付いたします。
- 合格者は、当協会のWebサイトに受験番号を掲載してお知らせします。
(<https://www.icda-careerex.org/result.html>)

厚生労働大臣登録試験機関

特定非営利活動法人日本キャリア開発協会

設問

事例Ⅰ・Ⅱ共通部分と事例Ⅰ、Ⅱを読んで、以下の問いに答えよ（事例ⅠとⅡは、同じ相談者（CL）、同じ主訴の下で行われたケースである）。（50点）

相談者（CLと略）：A、28歳 男性、四年制大学卒業、研修会社勤務、研修開発チーム、
妻（28歳、同じ会社の他部署に在籍）と二人暮らし

キャリアコンサルタント（CCtと略）：相談機関のキャリアコンサルティング専任社員

【事例Ⅰ・Ⅱ共通部分】

CL1：研修会社で、企業向け研修の企画開発の仕事をしているのですが、この先やっていけるのか不安になって相談にきました。

CCt1：Aさんは企業向けの研修の企画を担当されているんですね。この先やっていけるのか不安になったということですが、何かあったのですか。

CL2：ある企業の入社3年目社員の研修を任せてもらいました。実は今回初めてメイン担当を任されて、気合いを入れて取り組んだのですが……。初回の打ち合わせで、客先の人事担当者の考える3年目社員の課題や研修に期待することをお聞きして企画書を提出したのですが、「うちの若手社員にはハードルが高い」と言われてしまいました。

CCt2：客先の担当者からは研修について、最初はどんなお話があったのですか。

CL3：「入社3年目の社員に主体性や自信を持って仕事に取り組んでほしい」ということでした。そこで私は知識やスキルを身につけてもらおうと思い、相手を否定せず自己主張するコミュニケーション方法や感情をコントロールするトレーニングなどを取り入れました。またさらに難易度は上がりますが、あえてリーダー論やマネジメントの基礎知識も盛り込みました。

CCt3：3年目社員の課題を捉えた研修企画のはずが、通らなかったんですね。

CL4：はい。「そんなに詰め込まずに、まずは自分のことを振り返って自分の意欲の源に気づいてもらう内容にしてほしい」と言われてしまいました。

私は「入社3年目はこれから会社を背負って立つ人たちなので、彼らの可能性を信じてほしい。新しい知識やスキルを身につけることは自信につながる」と、一生懸命に説明したのですが受け入れてもらえませんでした。

CCt4：なるほど。Aさんはその担当者にわかってもらおうと一生懸命説明されたんですね。

CL5：でも駄目だったんです。その上、その方から「Aさんがたくさんの知識をお持ちなのは充分わかりました。でもそれは本当にAさんの自信につながっているのですか」と問いかけられてしまいました。

CCt5：どう答えられたのですか。

CL6：その時は少し動揺しながら「はい」と答えましたが、何か自分の自信のなさを見透かされているような気分になりました。

【事例Ⅰ】

CCt6：Aさんは、本当に客先の担当者が感じている課題を聞き取れていたのでしょうか。お話を聞いてみると、担当者とうえさんの話がかみ合わないまま、ここまでできてしまっているように思いますが。

CL7：課題の把握とゴール設定は研修企画の基本だと認識しています。ですから、私は担当者が3年目社員に自分を振り返らせたいという希望はしっかり理解しました。そのうえで主体性や自信を持つために、振り返りだけに留めない研修内容を考えたのですが……。

CCt7：そうだとすると、Aさんの思いが担当者に伝わらなかったということですので、今後は「プレゼンテーション力」のスキルも必要ではないですか。

CL8：う～ん……またスキルですか。今回のことで、担当者から「知識やスキルを積むことで自信がつくのか？」と問われたことで、悩んでいるのですが……。

CCt8：でも、私も A さんの言われるように、知識やスキルを身につけることは自信につながると思っていますよ。

CL9：確かにそうなのですが、私の場合は、周りの評価も気になるので、なかなか自信につながりません。

CCt9：A さんはもっと経験を積む必要がありますよ。今回初めて研修のメイン担当を任せられたのでしたよね。誰でも初めての時は思うように進まず苦勞するものです。1 回ぐらいで諦めてはだめですよ。失敗の繰り返しです。それが経験を積む、ということではないでしょうか。

CL10：まあ、そうですね・・・今回うまくいけば自信がつくということですよ。

CCt10：あとから振り返れば今回のことも A さんの成長につながったと実感できると思います。

CL11：う～ん。どのくらいの経験が必要なんだろう。それで同期に追いつけるかなあ・・・

(後略)

【事例Ⅱ】

CCt6：何かご自身の自信のなさを見透かされているように感じたと言われましたが、それはどういうことですか。

CL7：私は今回初めて研修のメイン担当を任せてもらったのですが、実は同期の B さんは 1 年前ぐらいから、いろんな研修のメイン担当をしているのです。私はその間も先輩の補佐役でした。同期の彼がどんどん新しい研修を担当し経験を積んでいく姿をみて、周りの目も気になり、自信がなくなって、とても焦っていました。ですので、家でいろいろな本を読んだり、休日にセミナーに参加したりして、上司にアピールしてきました。今回、やっと B さんに追いつけるチャンスが来たと思い、必死でした。

CCt7：同期に取り残されて焦る中、ようやく A さんにもチャンスが来たと思われたのですね。

CL8：はい、このチャンスをつぶしたくないという思いでした。客先の人事担当者に「社員に主体性と自信を持ってもらいたい」と言われた時に、自分のことと重ね合わせて、自信を持つためには知識やスキルを身につけることだと思い、提案しました。

CCt8：A さんが自信を持つために知識やスキルを身につけようとされるのは、どうしてですか。

CL9：う～ん、そうですね・・・学生時代にゼミの担当教授の評価が気になって、その先生の専門の人材教育分野の専門書や論文を読みあさったことがあります。たくさんの知識を持っていることで、教授だけでなく、ゼミの友人からも一目置かれました。この時、自分の中に周りに認められたという実感と自信が湧いてきた経験があったからかもしれません。

CCt9：A さんにとって自信とは周りに認めてもらうことなのですか。

CL10：私にとっての自信ですか・・・？周りに認めてもらうことが自信・・・？おかしいかな・・・？そう言われると、周りに認めてもらおうとする思いが強いほど、自信がなくなるような気もしてきました。

CCt10：そんな中で、知識やスキルを身につけることを大事にされてきたんですね。

CL11：う～ん・・・そうですね。そうすることで自信のない自分を隠そうとしていたのかな・・・

(後略)

※以下の各問いに対する解答について字数に制限はありません。ただし、解答は全て解答用紙の行内に記入してください。行外および裏面に記述されたものは採点されません。

[問い 1]

事例ⅠとⅡはキャリアコンサルタントの対応の違いにより展開が変わっている。事例ⅠとⅡの違いを下記の5つの語句（**指定語句**）を使用して解答欄に記述せよ（同じ語句を何度使用しても可。また語句の使用順は自由。解答用紙に記述する際には、使用した指定語句の下に必ずアンダーラインを引くこと）。（15点）

指定語句

決めつけ	説得	背景	自問自答	誘導
------	----	----	------	----

[問い 2]

事例ⅠのCCt7と事例ⅡのCCt9のキャリアコンサルタントの応答が、相応しいか、相応しくないかを考え、「相応しい」あるいは「相応しくない」のいずれかに○をつけ、その理由も解答欄に記述せよ。（10点）

[問い 3]

全体の相談者の語りを通して、キャリアコンサルタントとして、あなたの考える相談者の問題と思われる点を、具体的な例をあげて解答欄に記述せよ。（15点）

[問い 4]

事例Ⅱのやりとりの後、あなたならどのようなやりとりを面談で展開していくか、その理由も含めて具体的に解答欄に記述せよ。（10点）

設問

[問い 1]

[問い 2]

事例Ⅰの CCt7 (相応しい・相応しくない)

理由：

事例Ⅱの CCt9 (相応しい・相応しくない)

理由：

[問い 3]

[問い 4]
